

コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行所 加西市立総合教育センター

加西市北条町古坂 1173-14

TEL 0790-42-3723

インターネット等による犯罪・ トラブル防止運動作品 優秀作品決定

インターネットや携

帯電話等の普及に伴い、青少年がパソコンや携帯電話を利用した犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが増えています。

小中学校より 応募総数1,742点

そこで、総合教育センターでは、子どもたちが作品を創作することによって、インターネット上のルールやマナー、危険性について考え、正しく利用する意識の高揚を図るため

に、「インターネット等による犯罪・トラブル防止運動作品」の募集を行いました。

募集対象は、市内の小学5・6年生と中学生で、小学5年生から中学1年生までは標語を、中学2・3年生はポスターを募集作品としました。

各学校から多数の応募があり、応募総数は1,742点にのぼりました。いずれの作品も、ネット被害を防止しようという強い思いのこもった力作揃いでした。

9月27日に総合教育センターにおいて、審査員の先生方による厳正な審査の結果、下記のとおり

最優秀賞などが選出されました。

【ポスター】

中学3年生の部

最優秀賞

岡田 早彩

(敬称略)

(加西)

優秀賞

前田 涼太

(北条)

河原 理恵

(北条)

中学2年生の部

優秀賞

竹本 榛名

(泉)

小篠 弘奈

(泉)

【標語】

中学1年生の部

最優秀賞

安積 慶

(善防)

優秀賞

坂本 朋果

(北条)

原田 帆乃香

(加西)

小学6年生の部

最優秀賞

荒瀬 桃

(北条)

優秀賞

高井 空

(北条)

上原 優花

(北条)

小学5年生の部

最優秀賞

神田 ころこ

(日吉)

優秀賞

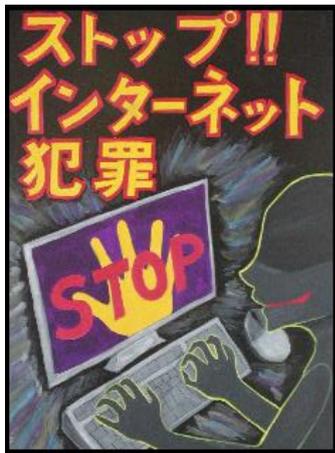
山田 康平

(北条)

飯尾 友貴

(九会)

なお、優秀作品は10月31日(月)の正午まで、アステシアかさい3階、ウォールギャラリーで展示していますので、ぜひご覧ください。また、その後は各小中学校での持ち回り展を開催します。そして、ポスターと標語の最優秀賞、優秀賞受賞作品は、「平成24年青少年健全育成カレンダー」に掲載することとしています。



右のポスターは、中学3年生の部で最優秀賞に選出された岡田さん(北条中)の作品です。

乗車マナー良好 列車内補導実施

加西市青少年補導委員連絡協議会の小谷保会長をはじめ、総合教育センター、加西警察署、播磨農業高等学校、北播磨県民局職員による北条鉄道の列車内補導が今月7日に実施されました。

この補導活動は、通学生の実態把握を行うとともに、乗車マナーの向上と青少年非行の未然防止を図ることを目的に、毎年実施しています。



当日は、北条町駅17時48分発の粟生行きに乗車し、北条町・粟生駅間を往復する列車内の状況を確認しました。乗車している通学生たちは、誰一人として列車内で大声による会話をしたり、荷物などの迷惑行為も無く、その乗車マナーは大変良好でした。

日頃から北条鉄道を利用されている方からも、「通学生のマナーは良く、まったく問題ない」という感想を聞くことができました。地域の高校生たちがこのようにマナーを守り、通学している姿を見て、大変うれしく思うとともに、頼もしく感じました。

【標語の最優秀賞作品】

考えよう
ネットのむこうに 誰がいる?
安積 慶 さん(善防中1年生)

知っておこう
見えない相手と つながるこわさ
荒瀬 桃 さん(北条小6年生)

あやしいな
そう思ったら NOクリック
神田ころこさん(日吉小5年生)

「ワッショイスクール協力員」 「地域見守り隊」の活動について 地域の子どもは 地域で守り育てる

「地域の子どもは地域で守り育てる」の趣旨のもと、地域の方々のご理解と協力で、加西市内の全小学校区（11校区）で「ワッショイスクール協力員」による子どもたちの安全を守る取り組みが意欲的に行われています。主な活動としては、①学校へ侵入しようとするなどの不審者対応 ②児童の安全確保と危険の未然防止の視点から校地内巡視、環境整備 ③学習支援活動などです。

「ワッショイスクール協力員」の構成員は、老人会・民生児童委員・PTA・地



スクール協力員」と体験しました。そして後日、脱穀・精

域住民の方々です。活動内容の①②は全市内とも同じですが、③については、3年生の環境体験学習での米づくり、黒豆づくり、サツマイモづくりなどの講師や補助員。2年生の町探検の引率補助員。写生大会でのモデルなど各校、特色のある活動がなされています。

③の一例として、富田小学校「ワッショイスクール協力員」の活動を紹介します。3年生は環境体験学習で米づくりを行っています。6月に田植え、9月に稲刈り、これらの指導と補助を「ワッショイスクール協力員」にお手伝いしてもらっています。先月の稲刈りでは、のこぎりがまの使い方やワラでの稲束の作り方、稲束をたる木にかけるコ

ツなど、昔の人たちの知恵と工夫を子どもたちが「ワッショイスクール協力員」



米等の体験学習も行っていきます。話は変わりますが、同じように「地域の子どもは地域で守り育てる」の趣旨で「地域見守り隊」があります。学校内ではなく、子どもたちの登下校中の安全を守る活動です。登下校のあいさつや不審者対応・交通安全などです。例えば、子どもたちの登下校の時間帯に、健康保持のために散歩されている方が、また農作業されている方が、庭の花に水やりをされている方が手を休めて、近くの通学路に立っていたただけで、子どもたちの安全が守られます。

近年、「人間関係の希薄化」・「規範意識の低下」・「地域でのコミュニケーション不足」などが言われています。「ワッショイスクール協力員」・「地域見守り隊」の活動が学校、保護者、地域との一層の強い結びつきによ

「非出会い系」サイト被害 低年齢化が顕著に

り、地域に活性化を図り、現代社会の諸々の問題を減少させていくのではないのでしょうか。なお、参加の問い合わせは、各小学校にお尋ねください。

警察庁が公表した2011年上半期における出会い系サイトに関係した事件の検挙件数は、497件で、前

件。被害に遭った児童は546人で9.2%減となっています。「非出会い系」サイトの被害児童数は、2008年に統計を取り始めてから増加の一途をたどっていましたが、今回初めて減少に転じています。しかし、14歳以下の被害児童が占める割合は33%に上り、出会い系サイトの18.8%と比べてもコミュニティサイトでは、被害児童の低年齢化が顕著となっています。

出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する被害児童数等の対比

